

「コロナ禍とどのように向きあうか： 人文社会学の知見をもとに考える」

2022年10月8日（土）

10：00～17：00

オンライン（ZOOM）

事前申し込み制

（下記アドレスまでお気軽にお申込みください）

E-Mail : irhsa@ml.aichi-u.ac.jp



E-mail 

プログラム

- 10：00～10：05 挨拶
- 10：05～11：05 「コロナ禍の文化創造のタイムスパンを考える—中国古典学との対比を通して」
木島 史雄
「コロナの倫理、ポスト・コロナの知性—災厄と共にあること—」
下野 正俊
- 11：10～12：10 「コロナ禍後の世界秩序をめぐる断章」
鈴木 規夫
「心理学から見るコロナ禍」
井藤 寛志
- 12：10～12：20 質問
- 12：20～13：00 休憩
- 13：00～14：00 「コロナ禍におけるケアと家族」
土屋 葉
「古代の日本社会と天然痘」
廣瀬 憲雄
- 14：05～15：05 「「疫」から読む『雨月物語』—「看病」の表象について—」
空井 伸一
「コロナ禍とばい菌言説：異端化の過程を考える」
片岡 邦好
- 15：05～15：15 質問
- 15：15～15：30 休憩
- 15：30～17：00 質疑応答

多様な分野から愛知大学人文社会学研究所の英知を集め分野横断的交流を図る

お問合せ先：愛知大学人文社会学研究所

<http://taweb.aichi-u.ac.jp/irhsa/>

441-8522 豊橋市町畑町1-1

TEL:0532-47-4167

お気軽にお問い合わせください



愛知大学
AICHI UNIVERSITY

「コロナ禍とどのように向きあうか：人文社会学の知見をもとに考える」

演目 プロフィール

「コロナ禍の文化創造のタイムスパンを考えるー中国古典学との対比を通して」

木島 史雄 愛知大学現代中国学部・准教授

専門分野 中国古典学

主要業績 「伏生授経図受容の研究」 「パレルゴン操作による鑑賞の楽しみ」 (愛知大学『文学論叢』)

「コロナの倫理、ポスト・コロナの知性ー災厄と共にあることー」

下野 正俊 愛知大学文学部・教授

専門分野 カントを中心とした近現代哲学

主要業績 "Kant's Conception of Internal Purposiveness Revisited-An Examination of a 'Latent' Antinomy of Teleological Power of Judgment-" (in Proceedings of the 11th International Kant Congress, De Gruyter, 2013)、
「存在観の変遷についてー西洋的知の根源と大学ー」 (『人文知の再生に向けて』愛知大学人文社会学研究所, 2016)、その他

「コロナ禍後の世界秩序をめぐる断章」

鈴木 規夫 愛知大学国際コミュニケーション学部・教授

専門分野 政治哲学・イスラーム学

主要業績 『日本人にとってイスラームとは何か』 (ちくま新書) 『光の政治哲学ースフラワルディーとモダンー』 (国際書院) 『現代イスラーム現象ーその恐怖と希望ー』 (国際書院)

「心理学から見るコロナ禍」

井藤 寛志 愛知大学文学部・教授

専門分野 認知心理学, 認知科学 (身体運動の模倣, 目撃者の記憶)

主要業績 論文に「Eyewitness Memory Distortion Following Co-Witness Discussion: A Replication of Garry, French, Kinzett, and Mori (2008) in Ten Countries.」 (Journal of Applied Research in Memory and Cognition, 2019) 「Is your memory better than mine? Investigating the mechanisms and determinants of the memory conformity effect using a modified MORI technique.」 (Applied Cognitive Psychology, 2021) など

「コロナ禍におけるケアと家族」

土屋 葉 愛知大学文学部・教授

専門分野 家族社会学、障害学

主要業績 『往き還り繋ぐー障害者運動 於&発 福島の50年』 (共著, 2019年)、 『被災経験の聴きとりから考えるー東日本大震災後の日常生活と公的支援』 (共著, 2018年)

「古代の日本社会と天然痘」

廣瀬 憲雄 愛知大学文学部・教授

専門分野 日本古代史、東部ユーラシア対外関係史

主要業績 主著『東アジアの国際秩序と古代日本』 (2011年 吉川弘文館)、 『古代日本と東部ユーラシアの国際関係』 (2018年、勉誠出版) など

「「疫」から読む『雨月物語』ー「看病」の表象についてー」

空井 伸一 愛知大学文学部・教授

専門分野 日本古典文学 (近世)、仏教と日本文化

主要業績 著書 『「国文学」の批判的考察江戸のテキストから古典を考え直す』 (二〇二〇年、文学通信) 論文 「秋成『春葉集』編纂についての少考ー「海賊」論のためにー」 (愛知大学『国文学』第61号、二〇二一年) 「連帯する「孤独」ー「菊花の約」の「友」ー」 (『文学論叢』第157輯、二〇二〇年)

「コロナ禍とばい菌言説：異端化の過程を考える」

片岡 邦好 愛知大学文学部・教授

専門分野 社会言語学、言語人類学

主要業績 『コミュニケーションを枠付けるー参与・関与の不均衡と多様性』 くろしお出版 (2017:共編著)、
"Decentering and recentering communicative competence." Special issue of Language & Communication 33 (4), (2013:共編著)、その他。